

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居年数が長い利用者が多く、それに伴い利用者全体の認知症状やADLが重度化している傾向にある。本人のペースに合わせて希望に沿った過ごし方を叶えたいが、現状、直接介護が必要な利用者も多く、他に優先しなければならないことが多数ある。結果、利用者が職員のタイムスケジュールに合わせてもらっている場面も散見される。個々が希望する過ごし方に沿えていないことがある。	利用者が希望する暮らしの提供。	介護以外に掛る業務負担の見直しや、簡素化を図る。利用者一人ひとりとしっかり向き合える時間を作ることで、本人が望む過ごし方に対応できるようにしていく。	3ヶ月
2	12・13	職員不足から、個別にスキルアップを図る為の教育や指導を行う時間が足りないと感じることがある。知識や技術の低下が懸念される他、伸び悩みから職員がやりがいを感じられずに離職へと発展してしまわないかが心配される。	職員が不安なく、スキルアップを図れる職場環境づくり。	現在、管理者とユニットリーダーが主に教育係を担当しているが、それ以外に適切にOJTを担当することができる職員を選任する。サポート体制を強化することで職員の不安を解消していく。事業所全体でスキルアップの底上げを図る。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。